

議会だより入善

GIKAI DAYORI

NYUZEN

No. 213

2025年4月27日

3月
定例会

じゅわへつと
にうぜん

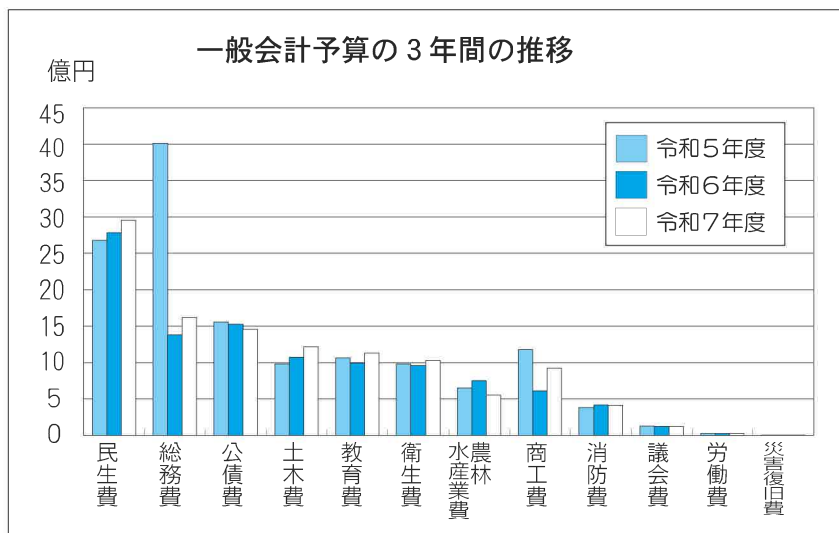
大きなランドセルを担ぐ新1年生
(桃李小学校)

主な内容

令和7年度予算の概要	〇〇〇	2P
特別委員会レポート	〇〇〇	7P
常任委員会レポート	〇〇〇	8P
代表・一般質問(6議員)	〇〇〇	10P
事業紹介 (町職員の政策提案を事業化)	〇〇〇	16P

令和7年度 予算

消滅可能性自治体からの脱却に向けた 新たな一歩を踏み出す



新年度予算の特徴

3月定例会は、4日から21日までの18日間開会し、町長から提案された令和7年度の一般会計予算1件と特別会計予算3件、事業会計予算2件、令和6年度補正予算4件、令和6年度一般会計補正予算の専決処分事項の承認1件、条例の一部改正など議案18件のほか、議員提出議案1件を審議し、すべて可決した。

また、入善町固定資産評価審査委員会委員や監査委員の選任について同意した。陳情1件については不採択とした。

一般会計	114億8020万円
特別会計	29億4570万円（3会計）
事業会計	22億7674万円（2会計）

令和7年度の一般会計予算は、DXの推進や公共施設などの脱炭素化、安心・安全なまちづくりをはじめ、賃上げや物価高などの社会変化に適切に対応するため、前年度当初予算と比較して7・5%の増とし、町の将来像「扇状地に夢と笑顔があふれるまち入善」に向って、一歩ずつ漸進するため、健全財政の維持に努めながら、施策の選択と集中を図った。

ストップ人口減少！
未来をはぐくむ新たな一歩
〜持続可能なまちづくり予算〜

(1)子どもを産み育てやすい
環境づくりによる出生数の増

○「それ行け！結婚プロジェクト」として、婚活イベント（アート婚活、カキ婚活、性

格診断婚活など）を年6回、婚活サークルを年12回開催するほか、新たに移住と結婚を同時に紹介する移住婚活サービスを活用し、町への移住を望む方と町のお見合い会員とのお見合いを行うなど、結婚を目指したサポートを行う。

○新たな生命が育まれる大きな喜びの一方で、妊娠、出産、子育てには様々な不安もあることから、相談・ケア体制のさらなる強化を図るため、入善町こども家庭センターを設置し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対して切れ目のない支援を提供する。

○放課後児童クラブ（学童保育）は、長期休暇中と土曜日の開始時間を30分前倒しし、午前7時30分とする。

○小・中学校給食費を児童・生徒一人につき、令和6年度補正で5000円増額し、月額25000円の助成を継続する。

3099万円

○中学校の5部活動について、休日の地域移行を実施する。
244万円

(2)健康寿命の延伸による

自然減の抑制

○特定健診の自己負担金を無料化し、受診しやすい体制づくりを強化するなど、病気の予防や早期発見・早期治療につなげる。
1751万円

○子宮頸がんワクチン定期接種の対象者は中学1年生から高校1年生であったが、令和7年度からは、小学6年生まで引き下げ、接種機会の増を図る。
573万円

○中等度難聴の診断をされた高齢者を対象に認知症予防や生活の質の改善を図るため、補聴器購入の費用を支援する。
45万円

(3)ーターン・Uターンの促進と地域活性化による転入増、社会増の促進

○移住希望者の登録サイトを活用して全国の移住希望者にPRを図るとともに、町SNSを活用した情報の強化に努める。
84万円

○町内外から多くの人が訪れる高瀬湧水の庭にトイレを新設する。
1088万円

その他の主な予算

○あいの風鉄道より北側の6地区を中心とした町内155カ所の海抜表示看板を更新する。
185万円

○避難所（小・中学校8カ所、地区公民館10カ所）に暗証番号型の鍵収納ボックスを設置する。
65万円

○花月公園に防犯カメラを設置する。
84万円

○勤労者福祉センターのトイレを洋式化する。
170万円

入善町固定資産評価 審査委員会委員の選任

3月19日で任期満了となった審査委員に、引き続き上野和博氏を選任することに同意した。
(任期3年)

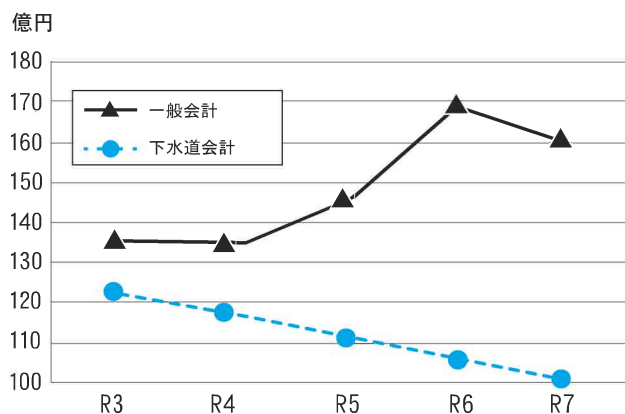
再 上野 和博 氏 (小杉)

入善町監査委員の選任

3月31日で任期満了となった監査委員に、新たに上野真里子氏を選任することに同意した。
(任期4年)

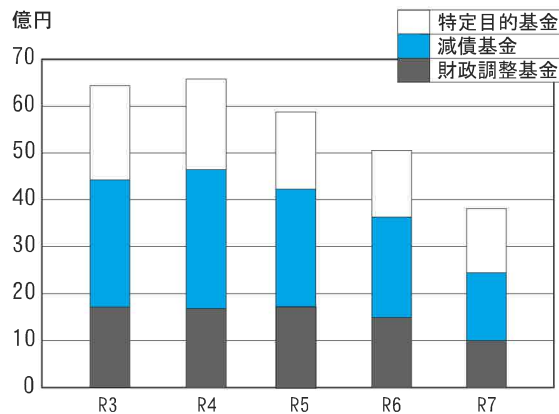
新 上野 真里子 氏 (小杉)

一般会計と下水道会計の借入金残高



借入金残高・基金残高ともに令和6年度、7年度は見込額
※下水道会計（～R5年度 下水道特別会計）
R6年度～下水道事業会計）

一般会計の基金（貯金）残高



財政調整基金：将来への財源不足を補うための貯金
減債基金：借入金の償還に充てるための貯金
特定目的基金：特定事業のための貯金

条例の一部改定

次の条例の一部改正案を審議した。

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について
 - 入善町の職員の給与に関する条例の一部改正について
 - 入善町職員等の旅費に関する条例の一部改正について
 - 入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
 - 入善町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部改正について
 - 入善町個人番号の利用に関する条例の一部改正について
 - 入善町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正について
 - 入善町税条例の一部改正について
 - 入善町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について
 - 入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
 - 入善町定住促進住宅条例の一部改正について
 - 入善町空き家及び空き地対策の推進に関する条例の一部改正について
 - 入善町水道の布設工事の監督及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について
- 賛成全員で可決**
- 賛成多数で可決**
- 入善町国民健康保険税条例の一部改正について

議員提出議案

- 入善町議会の個人情報情報の保護に関する条例の一部改正について

刑法の一部改正、また、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正などを行う。

賛成全員で可決

用地の売却について

令和5年9月に町が取得した工場用地の造成工事が完了したことから、アトランド株式会社と土地売買契約を締結し、用地を売却する。

○アトランド(株) 工場用地	
売却用地	入善町下飯野252番1 外2筆
面積	7万132㎡
金額	2億5726万円

財産の取得について

学習者用端末として町内小・中学生の児童・生徒に貸与しているタブレットを更新する。

取得する財産	学習者用端末
契約金額	1459台
契約先	三谷産業(株) 情報システム事業部

陳情

「最低賃金の全国一律制と中小企業支援の拡充を求める意見書」についての陳情

陳情者 富山県労働組合総連合

議長 中山 洋一

不採択とする

令和6年度

3月補正予算を可決

【一般会計】

16億2375万6千円を増額し、
総額148億5225万1千円とする。

【一般会計の主な事業】

○防災対策費

7585万3千円
国交付金を活用し、防災・減災に必要なトイレトレーラーや炊き出し器、プライベートルーム（仮設テント）のほか、防災車庫資材庫を整備する。

【特別会計】

国民健康保険特別会計

4323万5千円を増額

後期高齢者医療特別会計

3293万5千円を増額

【事業会計】

下水道事業会計

17万2千円を増額

討論

令和7年度予算について
陳情第1号について

討論 井田 義孝 議員

町内の介護事業所は経営の危機だ。このままでは町内の高齢者が介護サービスを受けられなくなる。町の3億円近い地域福祉基金を活用し訪問介護の減収補填や職員の夜勤手当への補助、事業所の物価高騰対策など支援を強化すべきだ。

高齢化が進む中で、公共交通の改善は急務だ。ウチマエ君の予約改善や病院、スーパ―と各集落を結ぶバス路線を復活させ、免許返納者への公共交通利用券を同居家族やセニアカー購入などにも使えるように改善すべき。

令和5年度の地域要望は149件だが、110件、73・8%しか解決できず3割近い要望が残されている。技術職員を補充し、住民要望実現のための十分な予算を確保すべきだ。

スクールカウンセラーを各学校に一人ずつ配置できるように県に求め、町独自にも常駐一人を確保すべきだ。

杉沢の沢スギは、専門家を復活し造園業者に依頼して計画的に管理していくべき。一般会計予算には反対だ。

1人暮らしの下水道料金が、5人暮らしの1人分の2・7倍にもなる不公平改善、一般会計から繰り入れて高齢者世帯を割引くなどの善後策もなく、町の落ち度を全面的に町民に負担させるような下水道事業会計予算には反対だ。

国民健康保険税の賦課限度額が2万円引き上げられ104万円となる。ただでさえ高い国民健康保険税の値上げは認められない。国民健康保険特

別会計予算、税条例の改正には反対だ。最低賃金の引き上げを求める陳情については賛成だ。

討論 中瀬 淳哉 議員

賃上げの影響や生産活動の緩やかな持ち直しなどが見込まれることから、町税全体は増加しているものの、物価高などの社会情勢への対応により歳出も膨らむため、当町の財政運営は依然として厳しい。そのような中、令和7年度予算は健全財政を堅持しながら、必要なところに必要な予算を充てているものと高く評価する。また、ここ数年の社会減の推移は令和4年は166人、5年は108人、6年は22人であり、着実に減ってきている。これは笹島町政の施策の効果が表れている証であり、新年度でも予算を確実に執行することにより消滅可能性自治体からの脱却に、より1歩近づくと確信をしている。陳情については反対する。

臨時会 1月20日

1月20日に開かれた臨時会では、町長から提案された令和6年度一般会計補正予算1件を審議し、可決した。

歳入・歳出ともに1億4867万9千円を追加し、総額132億2849万5千円とした。

また、新川地域消防組合議会議員の選挙を行った。

◎主な事業

○子育て世帯・高齢者くらし応援事業費

3649万円

物価高騰などによる経済的負担を軽減するため、子育て世帯と高齢者のみ世帯を対象に、町内の事業所で利用できるくらし応援商品券を支給する。

・対象者

2月1日現在、町に住所があり、次の①か②を満たす人

①平成18年4月2日～令和7年3月31日生まれの子どもがいる世帯

②昭和25年4月1日以前生まれの人だけの世帯
(特別養護老人ホーム入所者は除く)

・交付額

①対象者1人につき5千円分の商品券

②対象者1人につき1万円分の商品券
交付方法

4月上旬にゆうパックで郵送する。

○住民税非課税世帯等物価高騰支援事業費

5881万円

電気や食料品などの物価高騰の影響を受ける令和6年度住民税非課税世帯を対象に、一世帯あたり3万円、18歳以下の子ども一人につき2万円を加算して給付金を支給する。

○地域経済等支援事業費

4382万円

プレミアム率30%のプレミアム商品券を発行する。1セット6500円分の商品券を5000円で販売する。(※応募申込は締切済みです。)

新川地域消防組合議会議員の選挙

当町選出議員のうち、1名欠員が生じたため、選挙をした結果、田中伸一議員が当選した。

1月臨時会の議決状況

氏 名		鍵田 昭	池原 純一	岡島 功	井田 義孝	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里 国明	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
議案番号												
議案第1号	令和6年度入善町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第1号	新川地域消防組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会の議決状況

氏 名		鍵田 昭	池原 純一	岡島 功	井田 義孝	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里 国明	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
議案番号												
承認第1号	令和6年度入善町一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	企業立地用地の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	学習用端末の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第1号	入善町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和7年度入善町一般会計予算	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	○
議案第3号	令和7年度入善町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	○
議案第4号	令和7年度入善町育英奨学資金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第5号	令和7年度入善町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第6号	令和7年度入善町簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第7号	令和7年度入善町下水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	○
議案第8号	令和6年度入善町一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第9号	令和6年度入善町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第10号	令和6年度入善町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第11号	令和6年度入善町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第12号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第13号	入善町の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第14号	入善町職員等の旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第15号	入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○

議 案 番 号		氏 名	鍵田 昭	池原 純一	岡島 功	井田 義孝	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里 国明	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
議案第16号	入善町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第17号	入善町個人番号の利用に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第18号	入善町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第19号	入善町税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第20号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について		○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	○
議案第21号	入善町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第22号	入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第23号	入善町定住促進住宅条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第24号	入善町空き家及び空き地対策の推進に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第25号	入善町水道の布設工事の監督及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第26号	公の施設の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第27号	町道路路線の認定及び廃止について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
陳情第1号	「最低賃金の全国一律制と中小企業支援の拡充を求める意見書」についての陳情		×	×	×	○	×	×	欠	×	×	○	×
同意案第2号	入善町監査委員の選任について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議員提出議案第1号	入善町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○

○：賛成、×：反対、欠：欠席

第8回 交通網対策特別委員会レポート

3月21日に第8回交通網対策特別委員会を行い、令和7年2月末現在の町内公共交通の利用状況について町当局から報告を受けた。

町営バス「のらんマイ・カー」の2月までの利用者は、前年度比102%の1万4921人、1日当たり45・4人の利用であった。

デマンド交通「ウチマエくん」の2月までの利用者は、前年度比97%の1万1893人、1日あたり42・2人であった。

ウチマエくんの課題として、昨年も予約が取りにくいとの指摘を受けていたが、予約の成約率は90%程度であり、一日あたり4人程度が希望時間の予約が取れなかったことになる。その内訳は、午前中に2人、午後から2人になるため、特段、朝に限って予約が取りにくいわけではないが、利用ニーズを把握するには、利用者に対してアンケートに協力いただくことも一つの方法ではないか。

のらんマイ・カーについては、1日あたり15便運行しており、古いバスは走行距離が100万キロを超えているため、消耗を抑えるために走行距離が短い朝の3便に充て、残り12便に新しいバスを充てる。

入善駅にエレベーターを設置するために周辺地区バリアフリー基本構想の策定に着手する。



令和7年3月に新規導入されたのらんマイ・カー1号車

レポート

総務 常任委員会

ふるさと納税の返礼品
主力はパックご飯

Q ふるさと納税の返礼品
の予算が昨年は12
00万円余、今年は26
00万円余だ。

返礼品の予算が倍増し
た要因は。

A ふるさと納税をする
方が増えている。申
込みの8割がパックご飯
だ。

Q 返礼品は入善産の原
材料でないと駄目な
のか。

A 町外の原材料を入善
町で加工することに
よって付加価値がつく商
品、例えば牡蠣等が該当
する。

旧役場庁舎の維持管理
費も計上

Q 庁舎が完全移転され
たが、庁舎維持管理
費に旧庁舎分も含まれて

いるのか。

A 旧庁舎で、まだ水道を
近隣へ給水をしている
ので、電気料がかかり、
下水道も接続している。

庭の管理に関しても旧
庁舎分として計上してい
る。

総額は約600万円だ。

段ボールベッドなどを
要望する公民館に配備

Q 避難所運営資機材整
備費は、どこにどん
なものを整備するのか。

A 段ボールベッド、パ
ーテーション、ベッ
ド用のマットなどを新た
に購入して、既存の毛布
などと合わせて、要望の
ある公民館に配備する。

その他、総合体育館や
入善高校などスペースが
あって、常備が可能とい
うことであれば、配備を
していきたい。

海拔表示看板の更新

Q 海拔表示看板は何か
所あるのか。

A あいの風とやま鉄道

よりも北側の6地区を中
心に、町内155カ所に
設置されている。これを
更新する。

加齢性難聴者補聴器購
入助成に3万円

Q 助成額を3万円とし
た根拠は。

A 聴覚障がい者の補装
具にも国の基準額がある。
購入価格の2分の1、3万
円を上限と設定した。

子育て短期支援ショ
ーティストイ開設

Q 子育て短期支援ショ
ーティストイ事業とは
何か。

A この事業は、保護者
が疾病等で一時的に
育児ができない場合、子
どもを預けるものである。

2歳児未満までは富山
にある乳児院、2歳児以
上はルンビニ園が拠点に
なる。また、入善町にも
里親さんがおられる。

ママパパにも休日を

Q ママパパ休日プレゼ
ント事業は、保育所
の一時預かりやファミ
リー・サポート・センタ
ー利用券を交付する事業だ。

ファミサポの活動は認知
されているか。

A ファミサポは利用者
には好評であり、是
非とも協力会員としてサ
ポートする側にもまわっ
ていただきたい。

周知については、年4
回広報誌を発行している
ほか、年1回利用者同士
で集まる機会があるため、
利用者以外の方にも参加
していただき、深く周知
を図りたい。

ナイター照明LED化

Q 学校開放グラウンド
照明改修事業費は入
善小学校のナイター照明
改修だが、国県の補助金
はあるのか。

A 国県の補助金対象に
該当しなかった。

Q 全ての学校のナイタ
ー照明をLED化す
るといのは、現実的で
はなく、災害時の拠点な
どを考慮して計画的に整
備していくべきだ。

A 拠点として整備を考
えており、入善小学
校ではサッカー等の利用
に対応する。



更新する海拔表示看板

常任委員会

産業教育 常任委員会

部活動の地域移行は準備を進めている

Q 部活動の地域移行の準備はどのような状況か。

A 5つの部活動の指導者と協議を行うなど、新年度早々から始められるよう準備を進めている。

保護者の皆さんへの情報提供については、学校としっかりと打合せをして適切に対応する。

キッチンカースペースを中央公園内に整備

Q 中央公園にキッチンカー用の区画を整備するということだが、具体的な計画は。

A 配置場所や配車台数などの具体的なことはこれから計画を立てる。

カラス被害の対策を

Q 町内のカラス被害はどの程度か。

A 街中などでフン害が確認されている。

Q カラス駆除の実績は。

A 年間で400から500羽程度のカラスを捕獲している。

Q カラス被害の対策は。

A カラス駆除の要望が高い電線は、電線に所有する北陸電力に申し入れをして、カラスがとまりにくいように剣山状の突起物を設置している。

ただし、設置した場所にとまらなくなるが、ほかの場所に移動するだけで、イタチごっこ状態である。新しい技術などについて情報収集に努める。

Q 入善高校農業科がNEW農チャレンジ事業で取り組む入善ジャンボ西瓜の四角化の成果は。

A NEW農チャレンジ事業は、毎年、テーマを決めて取り組んでおり、四角化は令和6年度で2年目の取り組みであった。

1年目は、四角い枠から取り外すことができず失敗し、2年目は、成形に成功した。今年度は、食べられる状態にすることにチャレンジする。

現時点では、商品化までには至っていないが、全国に知っていたただけるよう取り組んでいる。

入善牡蠣ノ星で観光ツアー誘致を拡大

Q 牡蠣ノ星を増築することで来客数はどうなるか。

A 令和6年度の来客数は、3万5千人を見込んでいます。これまで土日はツアー客を受け入れていなかった。

牡蠣ノ星が増築されることで土日も受入れが可能となるため、令和9年度には年間5万人の来客数を見込んでいる。



増築予定の牡蠣ノ星

木造住宅の耐震改修支援の実績は

Q 地震発生時における木造住宅の倒壊などによる災害を防止するため、県と連携して経費の一部を助成する木造住宅耐震改修の実績件数は。

A 令和元年度は2件、3・4・5年度は各1件、6年度は7件だ。

高等学校等就学支援事業の初年度実績は18%

Q 高等学校などに通う生徒のうち、所得制限により授業料無償化の対象外となっている世帯に対し、町独自に支援金を支給する高等学校等就学支援事業の実績は。

A 令和6年度から始まった事業であり、対象者の18%に相当する105名の方に助成した。

学校給食に入善産食材が約3割

Q 学校給食に占める地産地消の割合はどの程度か。

A 給食に使っている入善産の割合は、32.8%程度である。県内市町村では第5位にあたり、県内でもしっかりと取り組んでいる。

スタディメイト派遣事業で2名増員

Q スタディメイトの派遣体制は。

A スタディメイトを各小・中学校へ週5日、年間40週派遣している。

中学校は各校へ1名体制で変更はないが、小学校は1〜4名体制とし、上青小学校と黒東小学校へ1名ずつ増員を図る。



町の未来を担う子どもたち（中学生議会）

子どもたちの大切な教育環境とは何か 統廃合に向けた検討に着手すべき 町長 統廃合も視野に含め 教育環境について議論の時期



松澤 孝浩 議員（会派 アクト）

問 少子化の進行に歯止めがかからない状況である。入善町の将来像を考えて、少ない児童・生徒数

の中で学ぶ子どもたちの大切な教育環境とは何か。

児童・生徒数が変化している現状を鑑み、入善町でも早急に小・中学校の統廃合に向けた検討に着手すべきだと思うが。

笹島町長 入善町の未来を担う子どもたちには、大きな夢をもって笑顔で成長してほしい思いで、数多くの事業に取り組んできた。

教育分野でもICT教育の推進、不登校児童生徒の増加への対応、部活動の地域移行など、さまざまな環境整備に努めてきた。

本格的な人口減少時代

に、将来にわたり持続的に発展可能なまちづくりを推進するため、町への愛情や誇りをもった人材を育むことも大切である。

最近では、小学校でのふるさと教育や中学生議会の開催などに取り組んできた。

今後、社会や教育を取り巻く環境は変化していくものと思うが、求められるさまざまな新たな教育ニーズに的確に対応していくために、統廃合も視野に入れ、新時代の学校の在り方について、議論をスタートさせる時期にきていると認識している。

そのため、教育委員会に今後の小中学校の在り方について、検討を依頼した。

統廃合も視野に入れた小中学校の在り方を検討するため、しっかりとした教育理念のもとに議論を深めていく必要があると考えている。

教育委員会からは、教育委員会議において、教育の現状と課題の整理や提供すべき教育環境について具体的に議論を行うなど、検討を開始したと伺っている。

小中一貫教育の導入を検討しては

小中一貫教育も選択肢の一つとして検討

問 慣習にとらわれず

に、小中一貫教育の導入を検討しては。

町長 小中一貫教育には、中一ギャップの解消や自由なカリキュラムによる教育を実施できるメリットがある。

一方、小・中両方の免許を有する教員を一定数、確保する必要があるなどのデメリットもあると捉えている。

これまでの慣習にとられない選択肢の一つとして検討していくことも必要ではないか。

○その他の質問

・新年度予算について



早期の解体が望ましい役場旧庁舎



佐藤 一仁 議員（会派 自民清流会）

「持続可能なまち」になるための事業とは
町長 「ストップ人口減少」の3本の柱の事業を
確実に展開することが重要

問 新年度予算に盛り込まれた「消滅可能性自治体」から「持続可能なまち」になるための事業とは、どの事業を指すのか。

笹島町長 少子化対策や子育て支援の施策では全

国のトップランナーを自負してきただけに、悔しさを強く感じる。「持続可能なまち」になるためには、「ストップ人口減少」に向けた3本の柱の事業を確実に展開していくことが重要だ。

問 新年度の新しい試みとして、役場若手職員からの140件を超える提案の中から10件を事業化した。どのような基準で採択したのか。

町長 「若い方、若い女性の流出を防ぐための施策」のアイデアを募った。141件の提案があり、若手職員が事業化に

向けて評価・検討した。

「若い職員が求めるモノ」や「子育て世代が望む政策」、「住民や民間活力の活用」などといった視点で査定し、新年度から取り組むことができるものから着手した。

「妊産婦タクシー券助成事業」・「入善つ子の夢、叶えます事業」・「中央公園キッチンカーブース設置事業」・「NEW農ステイ事業」など10件を選んだ。

問 旧役場庁舎の解体・跡地利用はどうするのか
老朽化や周囲への影響を考慮して検討する

用が見受けられないが、どのようにするのか。また、跡地利用はどのように考えているのか。

町長 跡地利用は、町の人口推移や社会・経済情勢など、様々な状況を捉えて検討していく必要がある。また、解体については老朽化や周囲への影響を考慮して検討する。

役場男性職員の育児休暇取得はどの程度か
令和3年に1件あるのみにとどまっている

問 働き方改革について、どのように取り組んできたのか。

梅澤総務課長 主な取組みとして、毎週水曜日のノー残業デー強化日やタイムレコーダーの導入とその記録データからの職

員の業務繁忙の見える化などに取り組んだ。また、有給休暇の取得促進については、5日連続取得の推奨、会計年度任用職員制度の導入と、会計年度任用職員の産前産後休暇の有給化、配偶者出産休暇及び育児参加休暇の新設などが挙げられる。

問 男性職員の育児休暇取得状況はどの程度か。

梅澤課長 令和3年度に一件の取得があったのみにとどまっている。なお、令和5年度では、男性の配偶者出産休暇等取得率は100%、男性の育児参加のための特別休暇取得率は66・7%だ。

制度の理解は進みつつあるが、まとまった期間の休暇取得にはつながっていない。



井田 義孝 議員（会派 日本共産党）

町内介護事業所は経営の危機

町として緊急支援を

町長

もはや制度が機能を果たしていない
町独自支援は恒常的に続けられるか検討

問 国が介護事業所に支払う介護報酬が低すぎて町内の介護事業所からは「訪問用の車を買って替えられない」「食糧費が十

分まかなえない」など経営の危機を訴える声が上がっている。実態をどう把握しているか。町独自の緊急支援を行うべきだ。

腰本保険福祉課長 求人を出しても応募がなく、退職に補充が追い付かない、燃料費や光熱費、食材の高騰で困っているなど大変な状況を聞いている。老健施設では職員の退職が相次ぎ新規利用者の受け入れを停止している。町内のサービス提供が続けられるよう、県の補正予算と合わせ必要な支援を検討したい。

問 職員の離職防止と確保のため、夜勤手当や家賃補助への町独自支援を。

腰本課長 介護職員不足は、全産業平均と比べ月8万円も安い給与格差も要因だ。

夜勤手当などへの補助は恒久的な支援であり慎重な検討が必要。

問 町は緊急支援すべきだ。このままでは町営介護事業所の設置も覚悟しなければならなくなる。

笹島町長 もはや制度が機能を果たさなくなっている。人材確保のため、国や県に訴えているが地方の実情に合っていない。

町独自の支援も有効だが恒常的に続けられるのかどうかも含め考えていかなければならない。

駅エレベーター設置にむけバリアフリー計画

会社の中長期計画に位置付けていただき協議

問 入善駅へのエレベーター設置のため駅周辺地区のバリアフリー基本構想策定に着手するが、どのような計画でエレベーター設置を考えているか。どの程度の予算が必要か。

若林キラキラ商工・観光課長 令和7年度にバリアフリー基本構想を策定し、並行してあいの風鉄道と具体的な計画を協議する。会社の中長期計画に位置付けていただき協議が整えば設計に入っていく。事業費は調査をしないとわからないとのことだが、滑川駅で4億2千万円程度だったとのことだ。

除雪車の入らない私道除雪に何らかの対策を

助成制度を利用し地区の共助でお願いしたい

問 町道ではないので除雪車が入らず、融雪装置もない私道に建つ家は除雪されず不公平だ。また、高齢者の生活安全や災害時の安全確保にも問題がある。町道の除雪後でもいいので除雪できないか。

西島建設課長 町は基本町道を除雪するので地区の共助でお願いしたい。地域ぐるみ除排雪や高齢世帯への除雪助成金制度など町の助成制度もある。

問 地域住民の除雪機購入へ支援拡充を。

西島課長 40万円以上の機械の3分の1か20万円の低い方を助成している。

- 新潟県柏崎市は、夜勤手当に増額補助
- 千葉県流山市は、給与に上乗せ補助
- 東京都は、居住手当に補助
- 新潟県村上市は、訪問介護事業所の減収分を補助

町独自に介護事業所支援を

相続放棄により空き家は発生しているのか 税務課長 23件の家屋が空き家となった

問 町の相続放棄の現状はどうか。相続放棄で空き家は発生しているか。
小路税務課長 相続放棄により相続人全員が相続



空き家の利活用はこちらまで



中瀬 淳哉 議員

を放棄した家は、実質的に管理する人がいない状態となり空き家となる。

町では、令和7年1月1日時点で相続放棄されたと把握したものは36名分だ。この内、家屋を所有していた方は23名で、これらの方の家屋が空き家となった。

問 相続放棄により発生した空き家の管理はどうなるのか。

小路課長 相続放棄をした人は放棄のときに、相続財産に属する財産を現に占有しているとき、例えば、相続放棄した人が、実際は対象の財産を管理や使用などしているときは、当該財産を引き渡す

までの間、その財産を保存する義務があると民法に定められている。

それ以外の場合は、その空き家を管理する人がいなくなるので、町としても大きな問題である。

空き家実態調査は行わないのか

職員による物件の外観判定を実施した

問 空き家実態調査は行わないのか。

一島住まい・まちづくり課長 町では、国が定めた「管理不全空き家」を入善町空き家及び空き地対策の推進に関する条例に定義し、空き家等対策計画に盛り込んだ。この管理不

全空き家は損傷度ランク3、4の物件が該当候補になると想定している。管理不全空き家候補の母数を想定するため、職員による全物件の外観判定を現地調査や近年の写真確認により実施した。

また、前回に実態調査したランク判定済み物件についても、全て現況を再確認し、損傷度が明らかに進行している空き家16件については、ランクを見直したところだ。

この結果、1月末の空き家総数726件に対し、ランク1が212件、ランク2が334件、ランク3が106件、ランク4が17件であり、57件については空き家が解消されていたため、2月末現在では総数669件を把握している。

この調査を実施したこ

とにより、町内の空き家損傷度の推計は可能になったため、来年度は空き家実態調査を実施したいこととした。

問 「外国人の方でも誰でもいいので、空き家を買ってほしい」という方が増えてきているとのことだ。町の考えはどうか。

一島課長 町の令和6年度の空き家バンク利用登録において、2月末で70件中16件が外国の方だ。

町は、空き家の購入者が地域に馴染めるかどうかは国籍で判断すべきことではなく、多様な文化、生活様式、価値観を理解し尊重することが必要であると考えている。その上で、地域の習慣やルールを守っていたくために、受け入れ体制を整えることが重要であると考えている。



導入配備されるトイレトレーラー

自然災害に備えた危機管理と減災・防災に
どう取り組んでいくのか
総務課 自助・共助・公助をしつかり連携させ
常に対策を改善し取り組む



田中 伸一 議員

問 昨年9月29日に実施された富山県合同入善町総合防災訓練の検証と訓練の成果を踏まえて、今後どのように取り組んでいくのか。

梅澤総務課長 防災対策は一朝一夕に成しえるものではなく、自助・共助・公助がしっかりと連携し、実践的な訓練を行い、反省点を洗い出し、改善を行った上で再度、訓練に取り組む、という循環的な取り組みを継続していくことが重要である。

これにより、町民一人ひとり、地域の住民や自主防災組織、町がそれぞれの立場で、防災・減災への知見と対策を着実に積み重ね、町全体の防災力強化につながっていく。防災対策に終わりはなく、町は常に対策を改善し今後も取り組んでいく。

問 災害への備えとして、避難所の衛生環境改善のためにトイレトレーラーの導入が有効な手段と考えるが、導入の経過や災害時以外の活用方法、新規配備の効果はどうか。

梅澤課長 避難生活における生活環境の改善を図るため、被災時における簡易トイレや仮設トイレなどの活用と併せて、早期に衛生的で快適なトイレ環境を提供できるトイレトレーラーの導入方針を決めた。

平時時は町や地区で実践する防災訓練での啓発展示や各種イベントでの活用などを考えている。新規配備は1台である

が、「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」に参加することで、被災時には、全国の自治体から複数のトイレトレーラー等の派遣が受けられることから、被災時のトイレ確保に効果的であると考えている。

ハザードマップの更新
内容と配布時期は
防災関連掲載情報の修正で3月中旬を予定

問 昨年1月の能登半島地震発生後、ハザードマップの更新の必要性を強く感じている。更新の時期と内容はどのようなのか。最新情報を取り入れて再度全戸配布したらどうか。

梅澤課長 内容は、災害対策本部となる役場新庁舎、町の公共施設や保育所などの指定避難所・福祉避難所一覧の修正、避難等に係る防災関連掲載情報の修正などで、防災マップの完成は、3月中旬を予定している。

○その他の質問

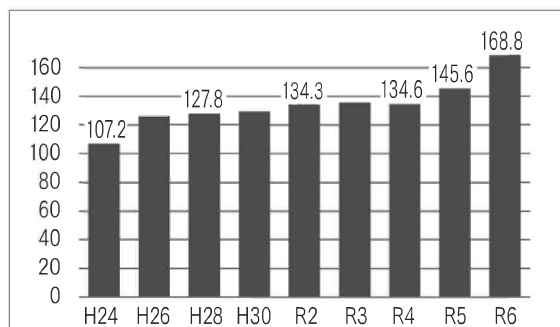
- ・学校体育館への空調機器設置の推進について
- ・踏切の拡幅を求めている田中踏切が改良指定されたが、進捗状況について
- ・下水道管路の保守点検管理はどのように実施しているかについて

大型事業ばかりでなく暮らし・福祉を優先に

財政課長

必要な事業を順次やってきた

問 町の支出に占める土木建設費の割合は、令和4年度までの10年間の平均で22%と、上市町の12%、立山町の14%より



町の借金残高 (億円)



松田 俊弘 議員

問 平成24年の町の借金残高は約107億円だったが、令和6年度末には

答 令和11年がピークでその後は徐々に減る。増えている借入金返済額の今後の見通しは

た。ただし、国・県の補助金や交付税措置のある地方債など、有利な財源を確保し実施してきた。

極端に高くなっている。公共事業優先でなく、住民の暮らし・福祉優先の町政に改めるべきだ。

岡島財政課長 各地区コミュニティ施設の建設、消防防災センター整備や小学校大規模改造、統合保育所整備、中央公園改修など順次実施してきた。

問 平成5年当時のコシヒカリの生産者米価は、60kgで2万4千円近くあったが、平成の後半に

答 米の安定供給に農家の所得補償を国に求めよ。関係機関と連携し農家の所得安定に取り組む

令和2年ごろまで返済額は13億円前後だった。令和4年から15億円台になり、返済額が財政を圧迫しかねない。今後の返済額をどう見ているのか。

岡島課長 役場新庁舎整備などもあり、令和11年ごろがピークだ。その後返済完了も出てくるので徐々に下がると推計している。

168億8千万円になる。令和2年ごろまで返済額は13億円前後だった。令和4年から15億円台になり、返済額が財政を圧迫しかねない。今後の返済額をどう見ているのか。

長島課長 多くの組織で

問 集落営農組織では担い手不足が心配される。作業の効率化などのための機械類の導入に町は積極的に支援すべきだ。

答 集落営農の資機材購入に積極的支援を。機械類の導入計画があれば支援事業と一緒に考える

農家の所得安定に取り組むとともに、国や県にも要望していく。

長島がんばる農政課長 需給バランスが大変重要で、米生産に過不足が生じないよう関係機関と連携し農家の所得安定に取り組むとともに、国や県にも要望していく。

なるとその半分という状態が続く、農家の収入も激減した。農家は生産資材の高騰などで疲弊しており、安定的な米の生産のために、政府による所得補償を求めていくべきだ。

構成員の高齢化が課題となっている。機械類の導入の計画があれば、有効な支援事業がないかを一緒に考えるので、気軽に相談していただきたい。

魚津断層帯は県の被害想定調査対象になったのか

答 県は、昨年8月に新たに15の活断層の地震や津波による被害想定調査を行うと発表した。町が最も被害を受けるとされる魚津断層帯は調査対象になっているか。

梅澤総務課長 当初は対象外だったが、11月に開催されたワンチームとよまの会議で調査対象に加えるべきとの意見があり、調査対象になったと県から聞いている。

魚津断層帯は県の被害想定調査対象になったのか

答 11月に対象に追加された

事業紹介 町職員から提案された政策提案を新年度予算に事業化

令和6年4月に入善町が新たに「消滅可能性自治体」として発表されたことを受けて、町は「人口減少」の克服に加えて、「消滅可能性自治体」からの脱却に向けた政策の実現のために、特に「若者の流出を防ぐための施策」について、重点的にアイデアを募り、町職員から例年をはるかに超える141件の提案を受けた。

- 1 妊産婦タクシー券助成事業**
妊娠期間の健診や通院など、妊婦の方が安心して外出できるよう、妊娠届出時にタクシー券3万円分を交付する。

予算額 305万円

- 2 ママパパ休日プレゼント事業**
2歳児までの子どもを在宅で育児する保護者の方に対して、一時保育およびファミリー・サポート・センター利用券を支給し、心身のリフレッシュを図る。

予算額 35万円

- 3 入善っ子の夢、叶えます事業**
若者から町で実現したい夢を募集、選考し、予算化につなげる。

- 4 NEW農ステイ事業**
入善高校農業科の生徒が

町内の農家で寝食を共にし、農家として働くことを体験してもらうため、受入れ農家を支援する。

予算額 21万円

- 5 入善高校農業科卒業新規就農激励金**
入善高校農業科を卒業後、すぐに就農した方に対する激励金を加算支給する。

予算額 80万円

- 6 ふるさと納税返礼品開発支援**
ふるさと納税の返礼品の開発を支援する。

予算額 80万円

- 7 西町定住促進住宅学生サポート**
学生が単身入居する場合、家賃を半額に減免し、若者の生活をサポートする。

予算額 34万円

- 8 中央公園キッチンカーブース設置事業**
中央公園の利便性向上と

にぎわい創出のため、キッチンカー用の区画を整備し、飲食店などを公募する。

予算額 210万円



キッチンカー（中央公園）

- 9 ジェンダーギャップ解消**
町が先頭となってジェンダーギャップ解消に努めるため、講演会などを通じ認識と理解を町民に深める。

予算額 34万円

- 10 情報発信活性化事業**
SNSなどによる情報発信の強化と、広報の音声化対応などを図る。

予算額 23万円

編集の窓

新年度予算で役場職員からの提案を事業化した点を評価します。一方で、庁舎ロビーに設置された町民からの意見箱、いわば江戸時代の目安箱が目立ちにくい状況にあります。

「消滅可能性自治体」からの脱却を目指すならば、配置を工夫すれば、町民主役のまちづくり、町の本気度がより伝わるのではないのでしょうか。若手や町民への権限移譲を含む大胆な施策も視野に、町と力を合わせ、議会も新たな一歩を踏み出します。

皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

議会広報編集特別委員会

議長	本田 均
委員長	池原 純一
副委員長	井田 義孝
委員	五十里 国明
〃	田中 伸一
〃	中瀬 淳哉
〃	鍵田 昭

議会だより入善

令和7年4月27日 発行

〒939-0693

富山県下新川郡入善町入膳423

☎0765(72)4806

FAX 0765(72)4711